

水稲用一発処理除草剤

クラッシュ®

EX

ジャンボ



あぜから  
カンタン散布  
できます!!



パック10個（一反あたり）を  
投げ込むだけで除草作業終了!!  
そしてよく効く。



ノビエ



ホタルイ



アゼナ



ウリカワ



セリ

特長

- ① 田んぼに入らず、あぜから投げ込むだけのカンタン散布  
10a当り500g(50gパック×10個)を散布します。
- ② 移植3日後からノビエ2葉期までの散布で、さまざまな雑草に長く効く

■適用と使用方法

2019年9月現在の適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ	移植後3日～移植後12日 (ノビエ2葉期まで)	壤土～埴土	小包装(パック) 10個(500g) ／10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	東北
	ミズガヤツリ (北海道を除く)	移植後3日～移植後15日 (ノビエ2葉期まで)	砂壤土～埴土				北海道
	ヘラオモダカ (北海道、北陸)	移植後3日～移植後12日 (ノビエ2葉期まで)					北陸
	ヒルムシロ (北陸を除く) セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後3日～移植後10日 (ノビエ2葉期まで)					関東以西の 普通期および 早期栽培地帯

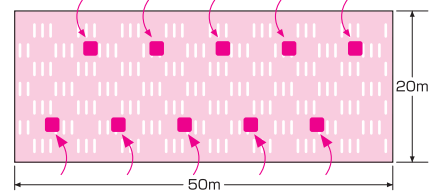
発生前後の早め散布で  
SU抵抗性雑草(アゼナ)  
にも有効!!

イマズスルフロンを含む 農薬の総使用回数	2回以内
カフェンストロールを含む 農薬の総使用回数	1回
ダイムロンを含む 農薬の総使用回数	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)

■上手な使い方

- ① 散布時は深水(5～6cm)にしてください。
- ② 藻類、浮草が発生する前に散布してください。
- ③ 「濡れた手」で扱わないでください。  
パックを破らずにそのまま投げ入れてください。

■使用量 ●10アール(1反)では10個を投げ込む(6～10m間隔)で。



■主要雑草に対する散布適期

雑草名	散布適期
ノビエ	2葉期まで
ホタルイ	
ウリカワ	
ミズガヤツリ (北海道を除く)	発生始期まで
ヘラオモダカ (北海道、北陸)	
ヒルムシロ (北陸を除く)	発生期まで
セリ	再生前から再生始まで
アオミドロ・藻類による 表層はく離	発生前まで

【使用上の注意】

- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 田植え前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用することが望ましい。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはていねいに行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 処理に当っては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使い切ってください。
- 小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるため使用をさけてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。特に、処理時または処理後数日以内に異常高温が重なる場合は、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
  - 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
- 軟弱な苗を移植した水田 ●極端な浅植えの水田
- 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 濡れた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
  - 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
  - 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
  - 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
  - 散布後は水管理に注意してください。
  - 空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

